

磯子支部長 西川 健二 (S58年卒)

横浜市の南部に位置する磯子区は来年度区制 90 周年を迎えます。三殿台など昔からの史跡もありますが、あまりご存じない方もいらっしゃると思いますので、どのような区なのか少しご紹介いたします。

南部には円海山を中心とする氷取沢市民の森があり、金沢自然公園まで歩くことができます。このハイキングコースは、いくつかの学校では全校遠足のコースとして利用しています。市民の森の中は森閑とし、多くの生き物がいて、「横浜の中にこんなに豊かな自然があるんだ?」と意外な思いをもちます。

沿岸部は埋め立て地で占められています。以前は風光明媚な避暑地として磯子や根岸には多くの観光客が訪れました。しかし、昭和 30 年頃より埋め立て造成が進み、コンビナートなどのある工場地帯となりました。工場地帯となると無味乾燥な場所であるという思いをもちがちですが、しかしここも、大きな観光の素材がありました。そうです。工場の夜景が評判となり、観光資源として注目され始めてきたのです。結構な評判で、HP などにも写真がアップされているのをご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか?

また、美空ひばりを生んだ町としてもご存じの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

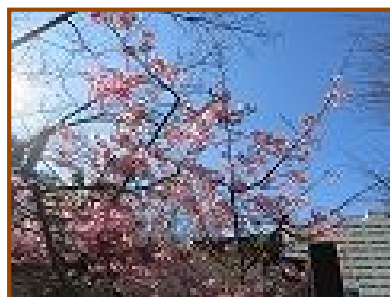
さて、子どもたちの様子ですが、小学校、中学校、全ての学校で、非常に落ち着いた雰囲気に取り組んでいます。大きな問題が上がることはなく、関係諸機関の皆様も「とても落ち着いている」とよく声を掛けてくださっています。これも先生方が丁寧に努力をされているおかげでしょう。特に若い先生方の努力が目につきます。自分の若いころと違い、

非常にしっかりと先生方が多いなと感心させられます。よく「今の若いものは…」と若者批判はどこの世界にもありがちですが、教員の若い方々は総じて頑張っているのではないのでしょうか。

磯子支部は、小学校 16 校、中学校 9 校の中堅規模と言ったところの区です。校内会員は 54 名、校外会員は 46 名です。なかなか支部での集まりはまだ持てていませんが、先輩方の力をかりながら実現することができるとよいと考えています。

今の教育現場には、様々な課題が押し寄せてきていることがマスコミなどの報道で分かります。気を抜けない状況であることも確かですが、磯子区はそんな中でもみんながしっかりとやっている区だなと感じ入っています。学校の頑張りや、地域の皆様をはじめ区役所の方、関係機関の方々が支えてくださっていることも落ち着いた学校として成立している要因なのではないかと思えます。

次期指導要領改訂の骨子のはっきりしてきました。いろいろな言葉が飛び交っていますが、私たちは磯子の方々と共に、地に足をしっかりとつけた教育活動に邁進していきたいと思えます。これからもご指導ご支援よろしくをお願いします。



磯子駅前の河津桜